

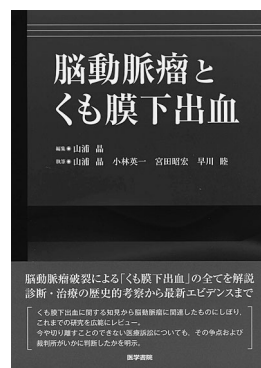
山浦 晶●編集

山浦 晶, 小林 英一, 宮田 昭宏, 早川 睦●執筆

脳動脈瘤とくも膜下出血

評 者

村山 雄一（東京慈恵会医科大学教授・脳神経外科学）



●くも膜下出血と脳動脈瘤に特化した力作

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血は脳神経外科医にとってその診断から治療、術後管理に至るまで、脳神経外科診療の基礎が詰まっている病態である。本書は脳動脈瘤手術のパイオニアである山浦晶先生を代表とした初版から四半世紀を経て、歴史的考察から現代の最新の知見までをまとめた書である。この間、くも膜下出血の治療は大きく変貌を遂げたが、その背景には Evidence based medicine の普及、クリッピング技術の改良、脳血管内治療の発展などがあり、また社会的には医療訴訟の増加などわれわれ医師を取り巻く状況も大きく変わりつつある。

医学書院よりタイムリーに出版された本書は脳動脈瘤によるくも膜下出血に焦点を絞り、また少数の筆者による執筆であるため、各章の統一性が高く evidence がはつきりしている事例のみならず controversial な事例に関しても筆者の考え方がよく伝わっている。また豊富な memo により関連する知識の肉付けもなされており、教科書としてだけでなく読み物としても興味深い書である。

本書が最もユニークな点はくも膜下出血に関連した法医学と医療訴訟を独立した章として設けてある点であろう。くも膜下出血の可能性のある異状死の際、医師として適切な警察への届け出などの legal action をどうすべき

か、われわれが避けることのできない法的義務に関し詳細に記述されている。さらに脳神経外科医として知っておくべき医療訴訟関連知識も具体例を挙げながら解説されており、万が一の事態に遭遇しない、あるいは遭遇した際にも適切な判断ができるよう明示されている。これまでここまでくも膜下出血に特化した教科書であらゆる知識を網羅したものはなかったであろう。

若手脳神経外科医のみならず熟練したベテランにも知識の整理とともに広く役立つ書である。

B5 頁 320 2013 年 医学書院刊
定価 8,400 円（本体 8,000 円＋税 5%）
[ISBN978-4-260-01647-6]